

経営比較分析表（令和5年度決算）

岡山県美作市 美作市立大原病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
25,524	6,642	第1種該当	-	10:1

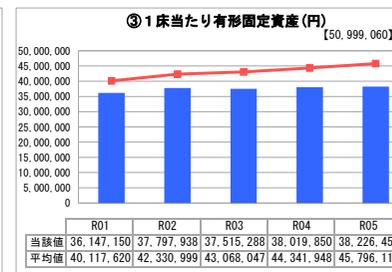
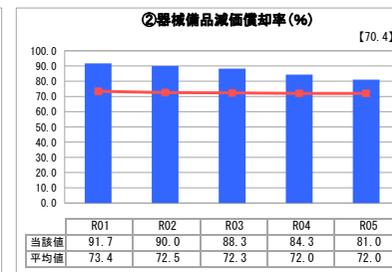
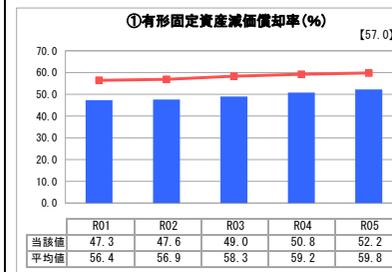
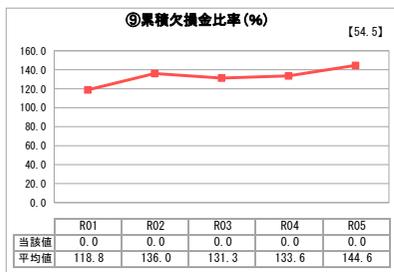
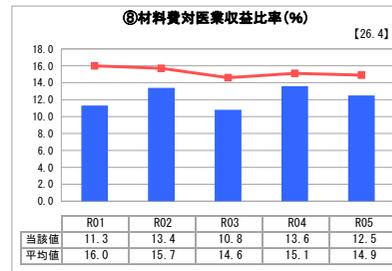
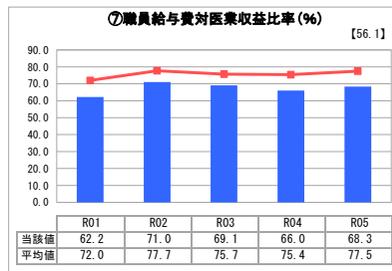
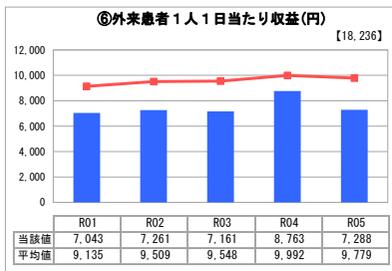
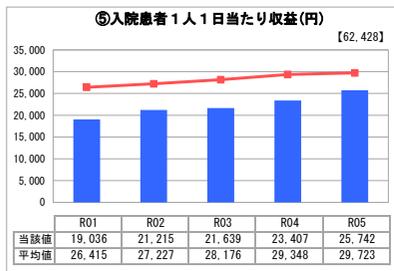
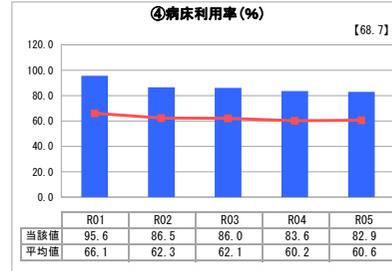
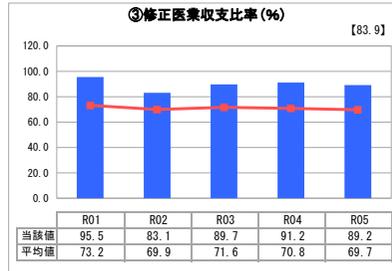
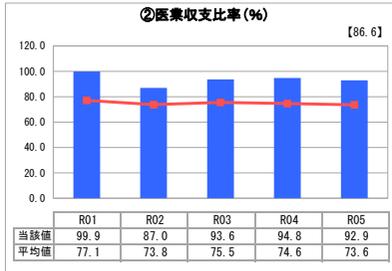
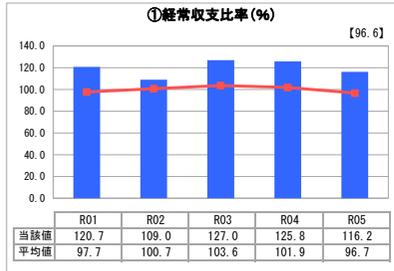
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
40	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	80
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
40	40	80

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

継続分化・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は岡山県北東部を医療圏とし、大原地域に立地している2次救急を担う基幹的医療機関である。住民への安心で安全な医療提供をするため、救急告示病院として24時間の対応を実施しており、専門高度な治療が必要なときは速やかに高次医療機関と連携している。また、急性期治療後の回復期のフォローも担っており、在宅での療養を支援するため、訪問診療・看護にも積極的に取り組んでいる。また、地域の将来的な人材の確保・育成も必要のため、看護実習生及び臨床研修医等を受け入れることで、地域医療サービスの提供主体としての役割を担うよう努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率では過去5年間、100%を達成しており、事業年度ごとの収支は黒字である。医療スタッフの不断の経営努力によるものであるが、当院においては一般会計からの繰入金により経営が安定しているため、地域医療体制の中で良質な医療が提供できていると考えられる。病床利用率も過去5年間の平均値87%であり、職員配置による経費に相応する診療収入を得ている。

2. 老朽化の状況について

平成17年に開院して以来、19年が経過している。医療器械備品及び施設設備においては長寿命化を図るため事業者による業務委託を行っているが、特に医療器械備品においては精度を維持するため、毎年度、計画的に更新を行っている。

全体総括

地域住民の保健福祉やへき地医療に対応できる医療環境の充実を目指しており、開院以降、経常損益では黒字化経営である。今後人員費等の削減、薬品等材料費の効率的な調達や管理を行うなど経費節減に努めていきたい。また、津山・英田保健医療圏域における将来人口推移にも表れているように、今後、当地域も人口減少及び超高齢化により入院・外来患者数は緩やかに減少していくものと予測できる。その変化に対応するため、病床等事業の適正な見直しによる経常黒字が継続できるよう経営健全化に努めている。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。